

宇和島イベント班

背景

大塚 悠雅 鎌田 泰嘉
川本 公大 奥村 悠斗
指導者：安藤翔星

現在、宇和島市では過疎化や少子高齢化など人口問題が起こっている。そこで、宇和島市の魅力を宇和島市外の人たちにも知ってもらい、宇和島を盛り上げたいから。

これまでの取り組み

宇和島市で行われている闘牛大会、牛鬼祭のデータを調査し、集客数について調べた。

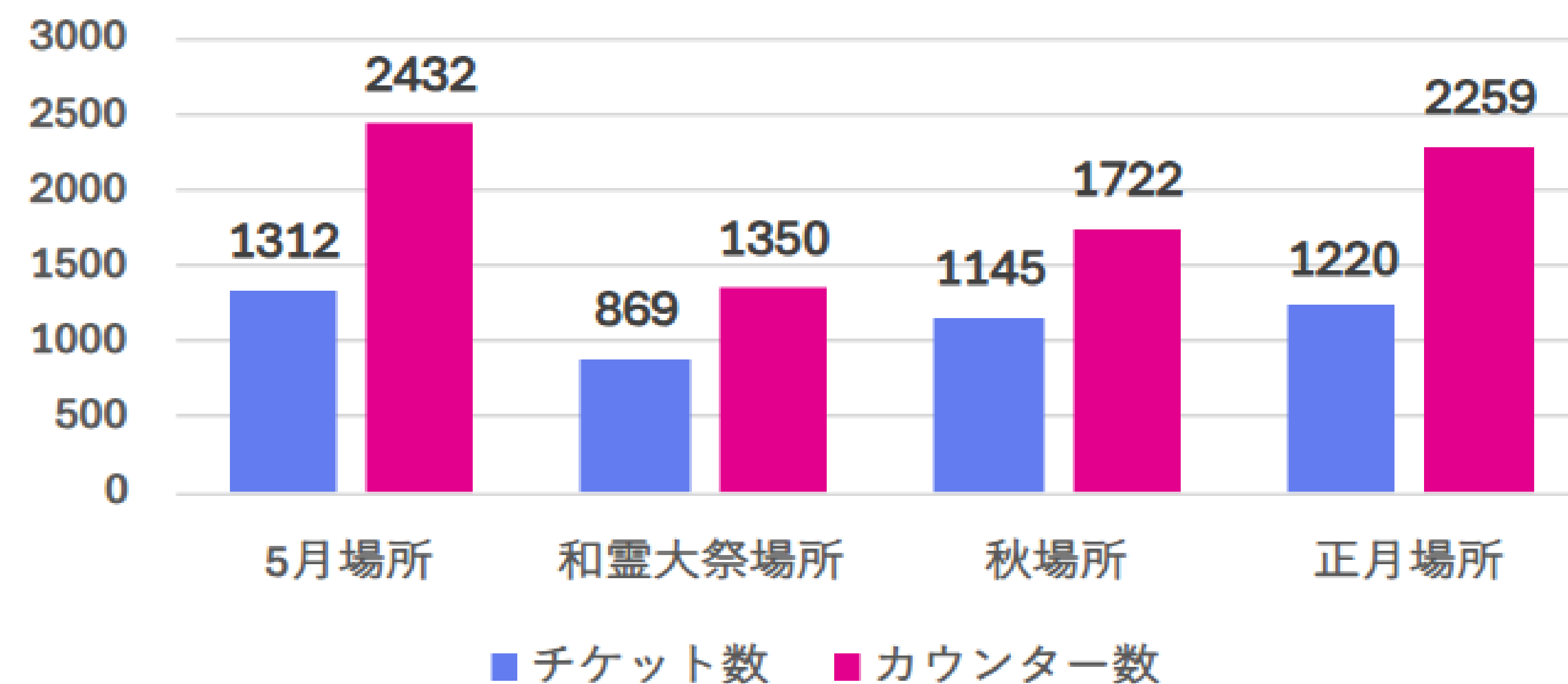
闘牛大会

年4回開催されており、2024年のグラフを見ると、和霊大祭場所の集客数が一番少ない。これは、和霊大祭のほうに客が多く流れたためだと考えられる。また、1，5月場所の集客数が多い理由として、正月、ゴールデンウィークに帰省した人が闘牛大会に参加したためだと考えられる。

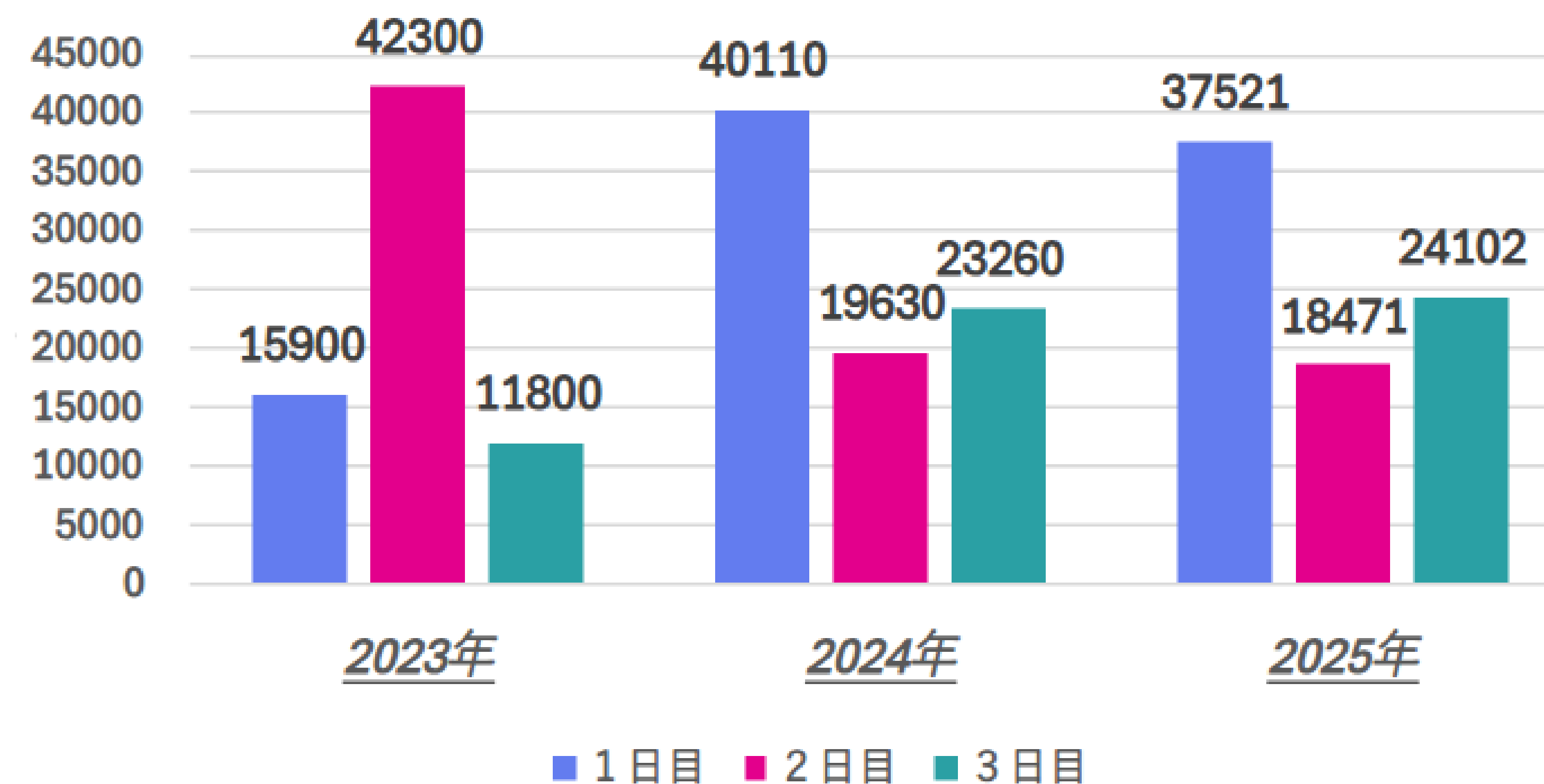
牛鬼祭り

2023年から2024年にかけて日程の変更が行われたため、1日目と2日目の集客数に大きな違いが生まれている。3日目は年々増加していることがわかる。しかし、2024年と2025年を比べると、1日目も2日目も集客数が減少している。これは打ち上げ花火の時間変更など、牛鬼祭りの日程変更が関係していると考えられる。

2024年 闘牛大会



牛鬼まつり



正月場所の闘牛大会

実際に正月場所を見に行き感じたこと

- 組み合わせは相撲と同様な番付けだった。
- 牛は正直な生き物なため相手を怖いと思うと背を向け角をつき合わなくなる。
- ➡**対戦不成立**
- 角には少し神経が通っているため、ぶつかり合って折れるととても痛い。
- ➡**折れた角は接着剤で修復可能！！**
- 闘牛は個体によって**1tを超える牛**もいて追突されると脳震とうなどの大怪我をする。

上記のことが実際に観戦して分かった情報だったものの...正月ということもありほぼ満員だった。
危険性を考えるとチケット販売や会場の清掃くらいしか協力することができず、**テーマにあう課題を見つけることができなかった。**



今後の取組

闘牛大会に参加したが、課題設定が難しく進展がないと考えた。今後は、伊達博物館のことを中心に宇和島の歴史について研究したり、イベントなどに参加して、取組を発表していきたい。